

銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役

橋本 健一郎



11月の銅の概況及び12月の見通し (1)

予想レンジ

LMEセツル 11,000-12,000ドル

建 値 1750-1964円

為 替 155-160円

(1か月間T T M)

■国際概況

2025年11月のLME銅は、景気期待と政策不安が交錯する高度に不安定な相場となった。

上昇要因としては、米国のインフレ鈍化と利下げ観測の再浮上によるドル安進行が最大の支援材料となり、投資資金がリスク資産へ回帰。また、中国の製造業支援策や電力網投資の拡大が「実需改善」期待を強め銅需要の底堅さを意識させた。

一方、下落要因は、欧州景気の悪化や米国の関税政策強化により世界貿易の不透明感が増し、需要鈍化懸念が再燃した点に加え、主要鉱山の操業正常化に伴う供給回復圧力が意識されたこと。結果として相場は上値を試しつつも調整を挟む展開となった。

月末日11,004ドルで終えた

■前月の経済指標

◆月間のドル/円レート(TTS)

155.10-157.63(円)

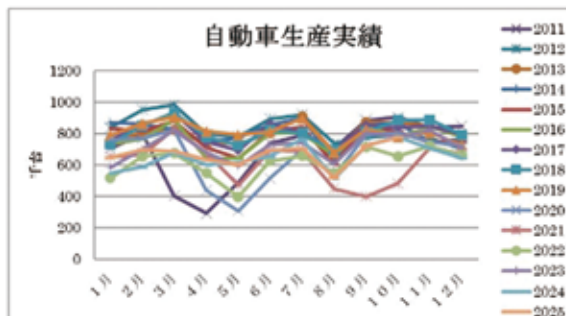


■国内指標

◆自動車生産

自動車生産動態統計によると、10月の自動車生産台数は、前年比-0.2%の77万6,072台。輸出は、前年同月比+4%の37万1,559台。

	8月	9月	10月
生産台数	51万7,699台	72万4,397台	77万6,072台
前年比	+0.9%	-0.2%	-0.2%

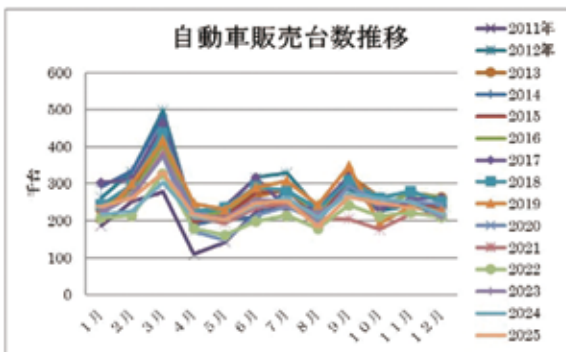


出典 生産動態統計

◆自動車販売

日本自動車販売協会連合会によると、11月の自動車販売台数(軽除く)は、前年比-6.1%の23万4,715台。

	9月	10月	11月
販売台数	26万5,391台	24万7,883台	23万4,715台
前年比	-3.3%	-4.3%	-6.1%



出典 生産動態統計

◆住宅着工戸数

10月の新設住宅着工は、持家が減少したが、貸家、分譲住宅が増加したため、全体で前年同月比3.2%の増加となった。また、季節調整済年率換算値では、前月比10.2%の増加となった。

(「11月の銅の概況及び12月の見通し」つづく)

銅・非鉄原料は

ホームページはこちら▶

www.kimura-metal.co.jp

QRコード

木村金属株式会社

06-6552-7840

大阪市大正区